

題材名「気象予報士になろう」

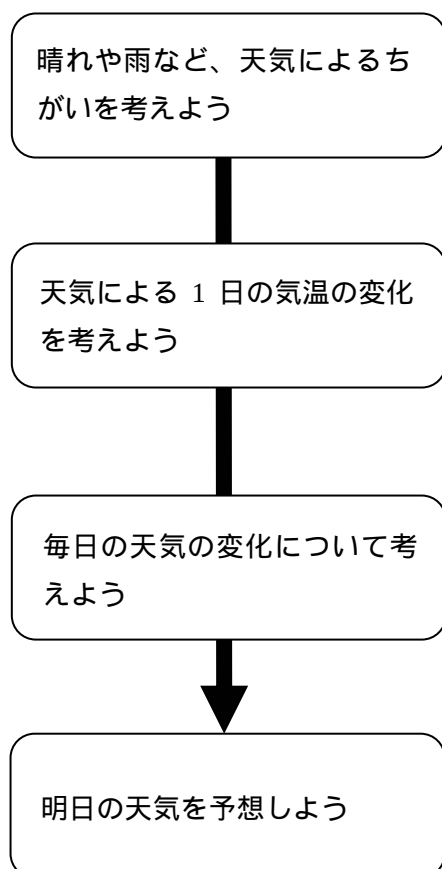
■ 目標

- ・ 気温の測り方を知り、天気によって気温に変化があることを知る。
- ・ 天気の変化の規則性を知り、新聞やインターネットなどの情報から、実際に天気の変化を予想できるようにする。

■ コンピュータ活用の利点

衛星画像と天気図を見ることによって、現在の天気やこれからの天気の予想をたてることができる。子どもたちが集めてきた情報（主に新聞）では、統一したものをそろえることが難しく、また静止画像になってしまうため理解がしづらい。そこでインターネットを活用し、プロジェクターを用いることによって、同じ情報と動画からの指導ができると考えた。

■ 授業の流れ



■ ICT活用場面

スクリーンの前に子どもたちを集め、自分たちの持ってきた新聞の切り抜きなどと比較しながら、時間がたつにつれ、動く衛星画像のシミュレーションを見せていった。大きな映像があるため、実際に雲がどこへ動くのかをスクリーンを使って予想しながら、学習できた。



(参照 <http://weather.yahoo.co.jp/weather/>)

■ 成果と課題

子どもたち一人ひとりがパソコンを使うと、使い方が分からなかったり、遊んでしまったりする子がいると思い、スクリーンにうつしての一斉指導をした。大きな画面上での学習で、子どもたちにとっても新鮮で、楽しく学習ができた。実際に日本周辺を動く衛星画像を見ることによって、普段ゆっくりと動いているように見える雲が、実際は日本の上空をすごい速さで通過していることや、天気の移り変わる理由など、よく理解することができていた。

課題としては、インターネット接続の速度があがれば、時間の節約もでき、子どもたちがより集中できる授業になるように思う。

■ ICT活用環境等

使用周辺機器	パソコン 1 台 プロジェクター スクリーン
使用ソフト名	Internet Explorer
使用教室	コンピュータ教室